一般質問

２月定例会では２名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いましたが、ここではその一部を掲載しました。

※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会で抜粋し、事項別に整理し掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは５月中旬作成予定の本会議録を図書館やインターネットでご覧ください。インターネットを利用する場合は「かまくらGreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。また鎌倉市議会ホームページの本会議中継システムから、録画映像も見られますのでご利用ください。

千　一	……「年末年始の社協の介護事業に対するヘルパーの体制について」「社協の土日の窓口体制について」「バイオリサイクルセンターについて」「市内の身体障害者の施設について」「介護保険で困られている方について」
原　桂	……「行財政改革について」「環境対策について」「教育諸問題について」

社会福祉協議会の運営について

今定例会では、社会福祉協議会（※文末参照）の運営について、次のような質問が行われました。

【土日の窓口体制について】

質問…福祉まつりのときは、日曜日でも職員が全員出勤しており、それ以外は行事があるときのみ出勤している。

土日のような児童・生徒、学生、一般の社会人が休みのときにこそ、その方達の活動において役に立つべきだと思う。社会福祉協議会の仕事は、たくさんあるのだから、その部分の人だけでもいてほしい。

横浜市の区の社会福祉協議会は、土日の窓口を二、三人の体制にしている。鎌倉市の社会福祉協議会もそのように、土日は全く窓口を閉めてしまうのではなく、何か聞きにきた利用者に対して対応できるくらいの体制はとってほしい。

部長…社会福祉協議会の役割としては、地域福祉の事業と、介護事業と二つの事業があり、もともとある地域福祉を推進するための事業は大変重要になっている。

社会福祉協議会が入っている福祉センター自体は、土日も開いている。そのため会議室や活動室の利用は可能だが、窓口については、ボランティアの方がそこへ来られた時に対応することは行っていないのが現状だ。

地域福祉を進める上で、土日とはいえ、どうしていくかということは、考える必要があると思っている。土日の常時の窓口対応は、今時点では、社会福祉協議会としては、人的な体制の問題、それに見合うコストの課題があり、すぐにはできないという話を聞いているが、実際には、土日しか来られない方達については、事前に予約を受けて対応している。

できれば他市の様子も参考にして、試行的に土日の窓口対応ができないか、伝えていきたいと思っている。

【年末年始の介護事業に対するヘルパーの体制について】

質問…昨年末、十二月二十九日から一月三日までの六日間はサービス提供は休みという資料がヘルパー利用者に配られた。

しかし、一人暮らしの方の場合、たとえ年末年始でも生活しており、何らかのヘルプの手は必要であり、それがないと食事も排せつもできない方がいる。

よく事情を聞き、必要な方の場合は、年末年始を問わずヘルパーを派遣するのがヘルパー事業者の社会的使命だと思うがどうか。

部長…現在、介護事業所の多くが原則的に年末年始を休んでいるところが多いが、利用者の状況に合わせて個別の対応をとっている。社会福祉協議会でも年末年始に実際には対応しているケースもある。

ちなみに去年から今年にかけての年末年始は、身体介護を必要とする二人の方に対し、社会福祉協議会と、他の事業所が連携して対応した。

年末年始に常時この体制をとることについては、社会福祉協議会も介護の分野では通常の一民間事業者と同じ事業形態をとっているので、最終的にはその事業所である社会福祉協議会の経営判断になる。

今後は年末年始のヘルパーの需要を把握する必要はあると思っている。

※社会福祉協議会…地域福祉の推進を図ることを目的として、住民や福祉関係機関・団体により構成された民間福祉団体。各都道府県や各市町村に設置されており、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域福祉増進に取り組んでいる。

鎌倉市社会福祉協議会の窓口

平成19年度補正予算を審議

今定例会に平成十九年度一般会計及び六特別会計の補正予算議案が提出されました。

◆一般会計

補正の内容は歳入歳出いずれも六億一千六百八十万円を追加するもので、補正後の総額は五百六十億五千五百三十万円となります。

議会では、特に第二十款衛生費における（仮称）バイオ・リサイクルセンターの用地取得に係る公有財産購入費の追加について、公有地の買収に関し、マニュアルを作成してほしいとの意見及び公有地の買収については、市有財産評価審査会の答申を最大限尊重し、最大限の努力をしていくとの市長の発言があったことをふまえた上で、候補地選定までの経過、用地取得に向けた現状や今後の取り組みなどについて担当原局から説明を聴取するとともに、副市長の見解をただすなど審議した結果、この公有財産購入費については、現段階において補正に入れられる状態ではないことから反対であるとの意見がありましたが、多数の賛成により原案を可決しました。

◆特別会計

六特別会計補正予算案を総員の賛成により原案を可決しました。

各特別会計の補正後の総額は次のとおりです。

◇下水道事業
九十五億一千九十万円

◇大船駅東口市街地再開発事業
二億七千二百八十万円

◇国民健康保険事業
百六十七億一千七百万円

◇老人保健医療事業
百六十五億四千五百四十万円

◇公共用地先行取得事業
歳入科目相互の金額を補正。総額は補正前と同額
六億七千百六十万円

◇介護保険事業
百五億四千六百三十万円

かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内

鎌倉朗読・録音奉仕会と
鎌倉市点訳赤十字奉仕団の
ご協力により、
議会だよりの音声版（収録テープ）と
点訳版を作成しています。
ご利用希望の方は、お申し出ください。

お問い合わせ先
〒248－8686
鎌倉市御成町18番10号
議会事務局議事調査担当
電　話：0467(23)3000　内線2448
ＦＡＸ：0467(23)5825

陳情の審査結果

◆野村団地南側斜面／深沢中学校周辺地域の緑の回廊の回復と保全を求めることについての陳情

陳情の要旨は、野村団地南側斜面、深沢中学校周辺地域の緑の回廊をつくっている畑の小道の自然を守り、周辺の斜面緑地の保全及び生活道路、通学路の安全確保を求めるというものです。

市からの説明によれば、この斜面緑地は、緑の基本計画における特別緑地保全地区などに該当していないため、保全の措置はとることができないが、開発事業において宅地内の緑化等が行われるとともに、開発事業区域外の陳情で述べられている道路と事業区域に挟まれた事業者所有の土地は、道路保護地として無償で公有地化をする方向で事業者と話し合いをしているとのことです。

議会では、本陳情を、昨年六月定例会で継続審査としていましたが、状況の推移を踏まえ、今定例会で改めて審査した結果、議会としても、市の対応を後押しする意味から、全会一致をもってこの陳情を採択しました。

正・副委員長の辞任・選任

【観光厚生常任委員会】

二月二十一日
吉岡和江委員長が辞任。
森川千鶴委員長及び本田達也副委員長を選任。

二月二十二日
森川千鶴委員長が辞任。

二月二十八日
本田達也委員長及び藤田紀子副委員長を選任。

【議会運営委員会】

三月二十五日
本田達也副委員長が辞任。

議会傍聴のご案内

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

本会議の傍聴

本会議当日に、市役所議会棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

常任委員会・特別委員会等の傍聴

委員会当日に、本庁舎２階の議会事務局で申し込みをしてください。なお、席に限りがありますので先着順になります。

当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。
電話：0467(23)3000　内線2448